

第1回懇談会の主な意見等について

<改築校の規模・柔軟な施設設計>

- 天沼小や高井戸小などの近年の改築校では、開校後に児童数が増えて教室を増設しているケースが見られる。人口推計だけでなく、改築による入学率の上昇を勘案するなど、きめ細かい推計を行う必要がある。
- 児童数の将来推計は非常に難しく、柔軟に対応できるような施設づくりが必要である。

<小中一貫教育・他の小学校との関係>

- 富士見丘小・中学校を施設一体型とすることが想定されているように見えるが、中学校には4つの小学校の学区があるので、富士見丘小学校だけに偏らない議論をしたい。
- 今の富士見丘中学校には、8つの小学校から生徒が上がってきているので、富士見丘小だけでなく、全体に配慮した議論をしていきたい。
- 区内には既に開校している小中一貫教育校もあり、その功罪が出てきているはずなので、そうした先行事例での知見を活かした学校づくりを考えたい。

<周辺道路>

- 富士見丘通りは、以前から安全性に課題のある路線なので、学校改築を機に道路整備を進めてほしい。
- 旧NHKグラウンドと中学校の間の道路が狭く、通学路としては心配である。

<改築手順等>

- 中学校に仮設校舎の期間や、グラウンドが使えない期間などが出てくるのか心配である。
- 中学校と企業用地の間にある区道をなくすことも考えられるが、道路の廃止は様々な手続きが必要で簡単ではなく課題は大きい。

<地域利用施設等>

- 以前の懇談会でも意見が出ていたが、図書館のない地域なので、改築に併せて検討してほしい。
- 高井戸や宮前まで行かないと図書館がないので、整備できるとよい。
- 地域に区の施設が少ないため、多目的に使える施設があるとよい。
- 高井戸公園の発掘調査では遺跡が出ていると聞いている。塚山公園のような遺跡等を保存・展示する施設の検討をしてはどうか。
- 今の富士見丘小学校のグラウンドを使って地域スポーツをしているが、移転した後に、地域スポーツへの開放が継続できるのか不安である。

<通学距離等>

- 小学校から遠くなってしまうので、児童の通学の足の確保が課題。先送りせず、この懇談会である程度の方向性を定めて、基本計画に盛り込んでほしい。
- 以前の懇談会では、移転改築への期待が高い一方、通学距離の問題等がクリアできればという条件付きだったと認識している。改築にあたっての基本的考え方には、「児童の安全性の確保」等を入れてほしい。
- シルバー人材の方の増員などを考えてほしい。
- 世田谷区の芦花小学校では、近年児童が増えて杉並区からの受入れが難しくなっていると聞いている。バスでの送迎等を含めて検討してほしい。

<懇談会等の進め方>

- 情報公開等をていねいに行い、地域の方々に受け入れられる学校づくりを進めてもらいたい。
- 懇談会の当面の目標である基本計画のイメージを示し、委員の皆さんに共有してもらった方が議論が進めやすいのではないか。

<その他>

- 現在の中学校の校庭が狭く、部活動では制約も出ているので、改築を機に改善ができればよい。
- 多目的広場は、一般の人も利用するのであれば、セキュリティ面の配慮なども必要である。
- 高齢者と子供たちが触れあえるような環境づくりをしてほしい。
- 改築を機に、子どもたちが学校に行きたくなるようなわくわくするような学校づくりができればよい。